

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり報告します。

総 務 文 教 調 査 会

平成 27 年 1 月 29 日（木）

全員協議会室

10 時 30 分 ～ 13 時 55 分

（委 員） 佐々木委員長、岡本副委員長

岡野委員、小川委員、森谷委員、野藤委員、上野委員、~~江角委員~~

（議 長・委員外議員） 足立、串崎、布施、芦谷、道下、西田、澁谷、西村、牛尾昭

（総務文教委員会 所属管理職）

〔総 務 部〕 牛尾総務部長、前木総務部次長（総務課長）、河上安全安心推進課長

〔地域政策部〕 ~~砂川地域政策部長~~、細川地域政策部次長（政策企画課長）、坂田地域振興課長
岡田地域プロジェクト推進室長

〔財務部〕 ~~堀財務部長~~、宮崎財務部次長（財政課長）、河野財産管理課長、宇津税務課長

〔金城支所〕 吉永支所長、大崎自治振興課長（金城分室長）

〔旭 支 所〕 田村支所長（自治振興課長、旭分室長）

〔弥栄支所〕 田中支所長、森下自治振興課長（弥栄分室長）

〔三隅支所〕 横田支所長、斎藤自治振興課長（三隅分室長）

〔会 計 課〕 江木会計管理者（会計課長）

〔教育委員会〕 ~~石本教育長~~、山本教育部長、三浦教育部次長（教育総務課長）、滝本学校教育課
副参事、山根生涯学習課長、島田中央図書館長

〔消防本部〕 加戸消防長、河上消防本部次長（総務課長）

（事務局） 小川次長

9：25～10：00 中央図書館雑誌書架視察

→書架の修繕については、再検討して来年度以降に方針を示す。（時期未定）

議 題

1 報告事項

- (1) 浜田市公共施設等総合管理計画の策定について
- (2) 災害時における避難行動要支援者の支援について
- (3) 島根県立大学との共同研究成果発表会について
- (4) 平成 26 年度第 2 弾婚活イベントの開催について
- (5) 生活路線バス運行管理業務委託の入札結果について
- (6) 国立大学法人島根大学と浜田市との包括的連携に関する協定について
- (7) まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- (8) 「浜田市の公共施設に関する意識調査」速報値について
- (9) 浜田市有料駐車場の利用状況について

- (10) 「平成 26 年度 2 月版 浜田市税だより」の発行について
- (11) 教育委員会制度の改正について
- (12) 公立幼稚園保育料の改定について
- (13) 浜田市立公民館分館の管理運営について
- (14) 浜田市ふるさと郷育推進方針について
- (15) 高齢者の軽スポーツ推進方針について
- (16) 浜田市立三隅図書館開館時間についての方針案
- (17) その他

2 その他

【会議録】

(開 議 10 時 30 分)

佐々木委員長

ただいまから総務文教調査会を開催する。本日江角委員が体調不良で欠席となったため出席委員は7名だが、定足数に達しているのでただちに会議に入る。

1. 報告事項

佐々木委員長

今日もたくさんの報告があるが、3月定例会が間近であり、ここで条例改正等の提案内容も含まれていると思う。副委員長からの要望もあり、事前審査になってもいけないということで、最初に提案事項について確認させていただきたい。

私の思うに、11番、12番、16番、この3点以外にあるか。

(「ありません」という声あり)

はい。ではこの3点については事前審査にならないように質疑をお願いしたい。

(1) 浜田市公共施設等総合管理計画の策定について

佐々木委員長

総務課長

佐々木委員長

森谷委員

この件について、総務課長。

(以下、資料をもとに説明)

ただいまの件について質疑がある方は。森谷委員。

まずこの計画の中で、減らすという話と、新しく箱物を作るという話の整合性が必要になってくるが、新規の場合は特にそれが必要。何年もつのか、毎年の管理費、トータルコスト等を明確にすることが分かりやすい。その辺をどう考えるか。

総務課長

新規施設の整備については、まず政策的に不可欠と判断したもののみを整備するというのを、ここで明確に謳っている。

維持管理費については…。

佐々木委員長

財政課長

財政課長。

施設を新たに作る際にはそういう視点が欠かせない。今後のライフサイクルコストについての指摘はそういう趣旨だと思う。今後そのような観点からご説明出来るように努めたい。

森谷委員

財政課長

森谷委員

今まではやってないということか。

決して今までそういう観点が無かったわけではない。

当然のごとく併せて説明して欲しい。今は20億と説明しているが実は60億円要るのだとか、こういう数字を簡単に載せておける話。当然だと思うが。

減らせという声の中で新たに作るなら、そういう説明がより必要になる。「必要な物に限定する」と改めて言われなくとも、今までも必要だから作っていたと思っている。

	新しく必要な物に限定して作ることにについて、この流れの中で更に整合性が持てるように、広域的な連携には見合っているのか、抑制する流れの中で何故必要なのか、先ほどの説明にあった 5 項目についてきちんとした説明を貼り付けておくくらいのことは必要では。 子供騙しの説明で、ここを乗り切れれば作れるという程度の意識では困る。きちんと答えてもらいたい。
地域 PRJ 推進室長	公共施設が政策的に必要不可欠かどうかという判断が必ず必要になってくる。また、既存施設で統合出来る物があるのではないかという視点も大事になってくる。
森谷委員 佐々木委員長 岡野委員	先ほどご指摘のあった生涯コスト、事業収支、ランニングコスト等を含めて、市民から広く意見をいただくために必要だと思うので整備していきたい。 かみ合っていないが時間が惜しいのでこれで一旦置く。 岡野委員。 既存の公共施設の統廃合ないし集約化ということがメインテーマだと思う。策定する中で浜田市内の施設を具体的に指し示せるのか。
財産管理課長	例えば民間活力を導入する等、具体的には売却や譲渡だったりすると思うが、そういった候補というかランク付けというか、手法みたいなものが出てくるのか。 公共施設の再配置関係は当方からお答えする。 現在の公共施設再配置の方針の素案は、3 月 15 日に成果品が出来るように業務委託しており、完成を待っている状態。その中で示される方針がある。そこには全体方針や利用圏域別方針、個別方針等、細部にわたって方針が示されることになっている。
佐々木委員長 小川委員	委員が仰った、個々の施設種類によって方針を示すことになっている。成果品が出来て、説明出来る段になったらお示しする。 他に。小川委員。 推進体制について問いたい。19 ページに「縦割管理だけでは上手く進まない。部局を超えた横断的な調整機能」と書かれている。具体的には専門部署を新たに設置とあるが、今の組織図とは全く独立した形で作ろうと考えているのか。
総務部長	現在検討中だが、公共施設の統合管理計画もさることながら、一方で施設自体の適正配置の関係で再配置計画を作っていこうとしている。それらも併せて対応する必要があるので、公共施設マネジメントに特化した部署というのは、総合的にやる部署を一ヶ所に集めたいということで検討している。
佐々木委員長	管財部門、行革部門を含めた再構築をして集約したいと検討している。 話を聞いていても非常にボリュームがあるし、委員の皆さんも

	思いや意見があるし、非常に重要な内容をたくさん含んでいる。質問にきりが無いし時間だけが過ぎる。この件については別途、集中的に説明を受けて質疑をする場を設けてもらったと思うがいかがか。 (「異議なし」という声あり)
佐々木委員長 総務部長	では、そのようにしていただけないか、総務部長。 先ほど申したように、総合管理計画というのが、来年度に実行して財政的措置を受けるためには、今年度中に策定する必要がある。一方、施設の再配置計画については来年度以降の計画も含まれる。
佐々木委員長	個別の考え方と、総合的に、今後浜田市としてはどういう方針で公共施設を整備するかということと、2つに分ける必要があると思う。しかし委員長がご提案になった件は、いわゆる全体の方針部分について質疑出来る場を設けて欲しいということか。
総務部長 佐々木委員長	ええ。10年くらいの計画もあると聞いており、今話をしても変更のある恐れがある。個々の話ではなく計画の総論として。総論でも細かい部分に触れている物もあるのでその辺の問題も。 やりとりしていただけるのであれば。市民と我々と一緒になって取り組んでいかねばいけない問題なので、意識付けも含めて。 では、内容等を含めてまた検討させていただきたい。 はい。委員の皆さんもそういうことでよろしく願う。

(2) 災害時における避難行動要支援者の支援について

佐々木委員長 安全安心推進課長 佐々木委員長 森谷委員	この件について、安全安心推進課長。 (以下、資料をもとに説明) ただいまの件について質疑がある方は。森谷委員。 そもそも名簿のベースというのは住民票なのか、それとも実際にそこに住んでいるという生の情報なのか、併用なのか。
安全安心推進課長	基本的には住民票のある方になる。資料に「対象者」の記載があるが、基本は浜田市に住基がある方で、市の部局が持っているデータで名簿のリストアップをする予定。
森谷委員	ということはそこに関わっていない方で、足腰が悪い等の人は外れているということで良いのか。
安全安心推進課長	関わっていないというのはどういう意味か。例えば身障手帳が無い方といった意味か。
森谷委員 安全安心推進課長	ええ。 現時点ではそこまで把握していない。ただ、いわゆる挙手方式も可能。地域のコミュニケーションの中で名簿情報を提供した段階で、この方は体調が良くないが名簿に無いということがあれば、個別作成等は可能だと思う。 しかし当初のシステムから抽出する段階では、手帳なり認定状

	況等から選出していくことになる。
森谷委員	手元の書類リストで一丁上がりだと安心されては困る。実情が拾い上げられるようなシステムにしていきたい。
安全安心推進課長	いわゆる災害発生時に支援を要す方をどう助けるかが、この制度の目的なので、ご指摘の点について充分把握するなり検討したい。
佐々木委員長 野藤委員	他に。野藤委員。 2 ページの下、避難支援体制の確立で「避難行動要支援者を対象とした個別計画を作成」とある。これは提供する相手方はかなり広範囲なものから各町内会という単位がある。
安全安心推進課長	個別避難計画というのは町内会が作るのだと思っていた。これをもとに、それぞれが個別に避難計画を作るのか。 個別計画は該当者それぞれにある。要は該当者がどういう状況にあり、避難時にはどういった支援が必要か、というものを作る予定にしている。
野藤委員	ただ、誰が実際に聞き取りに行くかというのは地域の状況によって違う。民生児童委員が居る地域とそうでない地域、あるいは自主防災組織がある地域だと元々が防災意識が高いので、場合によってはそこの方が行かれる、あるいは市職員が動向する等々、色んなパターンがあると思う。なのでここに挙げてあるのは、飽くまでも可能性のある団体という意味であり、各々が作るという意味ではない。
安全安心推進課長	行政がこれを作る前に各町内会単位である程度把握して、例えばA氏が必要としているなら、近所の誰が支援するといった事前の話し合いを、既に始めている所があると聞いた。 なので、各々が連携無くばらばらに動けば無駄になるのかと想ったりした。調整等は。 地域コミュニケーションが確立していれば、こういった制度が無くても地域内で支援が出来るのだが、それが不可能な地域もある。
佐々木委員長	また、この中には「あなたは普段どこで寝ているか」といった質問がある。これは南海トラフ等が想定されている。地震で家屋が倒壊等した際、行方不明者を搜索する時の効率アップを図っている。
佐々木委員長	既に動いている所については、逆に「それが本来の姿」と思っている。ただ、無駄な動きや活動が無いようにしたいと思うので、その辺は調整させていただく。
佐々木委員長	他に。 (「なし」という声あり) ないようなので次へ移る。

(3) 島根県立大学との共同研究成果発表会について

(4) 平成 26 年度第 2 弾婚活イベントの開催について

佐々木委員長	これらの件について、政策企画課長。
政策企画課長	(以下、資料をもとに説明)
佐々木委員長	ただいまの 2 件について質疑がある方は。森谷委員。
森谷委員	婚活の主たる目的は何か。お祭りが、定住者を増やすことか。
政策企画課長	最終的にはカップルが出来て結婚まで結びつく仕掛けにしたい。
森谷委員	それが主たる目的だとしたら方法が大雑把過ぎる。男の方が結婚し難いので、結婚を目的としているなら、男性の年齢は決めて女性は決めないというやり方の方が良い。
政策企画課長	参考にさせていただく。
佐々木委員長	他に。
	(「なし」という声あり)
佐々木委員長	ないので次へ移る。

(5) 生活路線バス運行管理業務委託の入札結果について

佐々木委員長	この件について、地域振興課長。
地域振興課長	(以下、資料をもとに説明)
佐々木委員長	ただいまの件について質疑がある方は。森谷委員。
森谷委員	冗談のような高い価格を出す人と、落札だけを目的にしているような非常に低い金額で出す人が居る。法的な立場からは突っ込めないのかもしれないが、特殊な金額での入札を防ぐ意味でも、金額の正当性のヒアリングをする等の対応は出来ないのか。
	今回は異常に高かったり低かったりした入札はあったのか。
地域振興課長	建設工事の入札については結果が公表されている。また一方、こういった物品役務の入札についてはホームページも含めて、業者名や金額、参加業者数を公開している。
	異常に高い低い入札について指摘があったが、指名競争入札の場合、どのタイミングで辞退しても不利益は発生しないことを前提にしている。従って自由に辞退が出来るし、辞退したことによるペナルティも無い。
	今回の入札は、4 つの入札それぞれ設計金額と予定価格があって、その範囲内で落札決定しているが、中には非常に高い金額の入札もある。指名競争入札で 12 社指名とあるが、この入札ごとに参加業者が少しずつ違う。参加業者の殆どが同じような金額で異様に高かったり低かったりする金額での入札をしてきた場合は、当課に問題があるのかと思うのが一般的。今回の 4 つの入札において確かに高い札を入れた方も居るが、それ以外は概ね近い数字で入れていることから、不都合があっても意図的に高い金額を入れたということは無いと思うし、入札の際に仕様書を見て普通に積算いただくはずだが、何かの拍子で計算違いや思い違いをされるケー

森谷委員

スもあるので、具体的には個別にヒアリングをすることはあまり無い。しかも今回の4件についても、落札金額というのが概ね予定価格範囲内で落札が叶っているので、特に調査はしていない。

地域振興課長

落札した業者が臨時的なバス使用の場合、そういう仕事は随契で受けると聞いている。その単価が各自治区でばらばらだったと思うが、摺り合わせは細かすぎるか。細かすぎるなら拒否してもらって結構だが。上手くいっているのか。

佐々木委員長

拒否というつもりも無いが、各々の契約金額があるので、それに見合った形で随意契約を結ぶことになると思う。

岡本副委員長

他に。岡本副委員長。

先ほど森谷委員が他にあるかと質問した時の答弁で、例として建設業の話をされた。

スクールバスの運行について非常に価格差があったと聞いている。今日の資料にそれが無い理由は何か。資料は後日貰えるのだろうが、内容について説明を願う。

今回の4つの入札は、金城・旭・三隅についてはスクールバスと生活路線バス一緒に入札している。浜田自治区と弥栄自治区においてはスクールバス単独で入札している。どちらの件についてか。

(「単独の方」という声あり)

地域振興課長

単独の方か。

佐々木委員長

教育部長。

教育部長

浜田と弥栄のスクールバスについては学校教育課で担当している。このたび浜田自治区においては有福と上府が統合するということで、新しくスクールバスの導入があり、それを委託する業務の入札が先般行われた。指摘されたように、安い金額だったと思う。

この件についての質疑は想定してなかったためこのたびは載せていないが、次回で金額等をお示ししたい。落札業者と「この金額で大丈夫なのか」というヒアリングをしながら協議を重ね、了解もいただいている。

岡本副委員長

次回に資料をいただけるのは了解した。とりあえず、落札金額や2、3番目の入札金額についてはお話いただけないか。

教育部長

申し訳無いが資料が手元に無いため、午後に資料をお持ちする。

佐々木委員長

今回は生活路線バスということで提案してもらっているので、スクールバスの件についてはなかなか返答が難しいと思うが、資料提出は願います。

他に。岡本副委員長。

岡本副委員長

もう一点、入札結果の路線名で「旭路線」、いわゆる統合の関係で単年度契約という話だった。では翌年からは2年契約なのか、それとも飽くまで3年なのか。

地域振興課長

今度どのように路線が変わるかも含めてだが、現段階では2年

佐々木委員長	でいくか、3年でいくかは決定していない。一応こういった業務の長期継続契約は最長3年と決まっているが、現段階では未定。
佐々木委員長	他に。 （ 「なし」という声あり ） ないようなので次へ移る。

(6) 国立大学法人島根大学と浜田市との包括的連携に関する協定について
(7) まち・ひと・しごと創生総合戦略について

佐々木委員長	この件について、地域プロジェクト推進室長。
地域 PRJ 推進室長	（ 以下、資料をもとに説明 ）
佐々木委員長	ただいまの2件について質疑がある方は。岡野委員。
岡野委員	6番について。島根大学には医学部があり、特に地域医療を担う人材育成の面で、浜田市と学校教育とが連携して人材を輩出していくことが大変重要だと思っている。 この条文の、特に有効期間の部分。文書の中で27年3月31日とあり、更に1年延長する等が書いてあるが、何年間の契約なのか。
地域 PRJ 推進室長	終期は特に決まっていない。この事業は良いことなので島根大学と浜田市とで続けていこうということであれば、この条文に沿って継続が可能。
岡野委員	つまりこれはずっとやっていくという意味であって、30日前に云々というのは単なる形式ということか。
地域 PRJ 推進室長	島根大学の学長が変わられる時期でもあり、一応3月31日までということにさせていただき、それ以降も良いことであれば続けていこうと、こちらからもお願いしていきたい。
佐々木委員長	他に。森谷委員。
森谷委員	7番について。計画を出せば国からお金が貰えるということで、10億円貰えたとする。そのうち8億円しか要らなかった場合の2億円と、それから、10億円はどういう形で貰えるお金になるのか。
地域 PRJ 推進室長	これは飽くまで26年度の補正予算としてつけていただいた。採択になれば事業費を繰り越して27年度中に事業を行うことになる。 総合的に実施計画の浜田市の枠があると思うので、その中で事業費を積算し、やりたい事業を国に挙げ、その決定があれば事業費を出来る限り使いきるようにしたい。例えば戦略づくりのために使って良い枠もある。実際に戦略づくりで使いきれなければ他の事業に回して良いという見解も出ているので、有効的に利用したい。
森谷委員	他の事業というのは、同じ課の中か、部か、それとも市の中か。
地域 PRJ 推進室長	市の中で考えることになると思う。
森谷委員	貰えるお金の種類は。交付税なのか、国庫支出金なのか。
地域 PRJ 推進室長	交付金という形で入るので、その事業のために使える。

佐々木委員長	他に。小川委員。
小川委員	6 番について。財政的な部分は伴うのか。
地域 PRJ 推進室長	共同研究等の場合は、研究費のような財政的なものも必要になってくる場合があるので、その際は予算をきちんと立て、承認を得た後に実行していくことになる。
佐々木委員長	他に。
	(「なし」という声あり)
佐々木委員長	ないようなので次へ移る。

(8)「浜田市の公共施設に関する意識調査」速報値について

佐々木委員長	この件について、財産管理課長。
財産管理課長	(以下、資料をもとに説明)
佐々木委員長	ただいまの 2 件について質疑がある方は。森谷委員。
森谷委員	このアンケート 3 ページ。「年齢別表」の中で、50 歳以下が 25 パーセントくらいしか無い。この歪さを見るに、ここに若者の意見は反映されていないと考える必要があると思った。
	SNS を利用すると 20 代の人に偏るということをよく言われるが、偏った意見が凸と凹とで一致するのが相互利用だと思うので、アンケートの方法は考える必要がある。
	4 ページ。各自治区のパーセントが何を意味するのか。人口が少ないのだから、回答者の割合は少ないに決まっている。何が反映されているかと言うと、浜田自治区の中の 50 歳以上の人の意見が強く反映されていると考えなければいけない。
	選択肢について言えば、車で行くか行かないかというのは結局、何を求めるためのアンケートかということを認識して欲しい。「この施設は遠くに移っても利用者に不便はかからない」というのが、「車で行きましたか」の数が多い回答になる。不便な所にあっても利用頻度が変わらないかというのを判断するためにある質問。1 つ 1 つの回答が有効に活用出来るかを考えて質問を決めて欲しい。質問内容は予め決められていたのか、それとも自分たちで考えたのか。
財産管理課長	これは委託業者側で判断された物で、こちらから意図的に質問内容を指定したわけではない。ただ、事前にこういうことを質問するという相談はあった。
森谷委員	ならば委託業者に「これは何を目的とする質問なのか」ということを、頭を下げて教えてもらうくらいのことをして欲しい。丸投げでは良くない。
	それから、アンケートの質問によって結果は自由に動かせるというのがアンケート業界の常識。「これを調べたい」というポイントで業者に要求すれば、それなりの回答を作ってくれるのではないか。これからは丸投げで済ませる考え方は止めていただき

財産管理課長 佐々木委員長	たい。 いただいた意見を今後に活かしていきたい。 他に。 (「なし」という声あり)
佐々木委員長	ないようなので次へ移る。

(9) 浜田市有料駐車場の利用状況について

佐々木委員長	この件について、財産管理課長。 (以下、資料をもとに説明)
佐々木委員長 森谷委員 財産管理課長	ただいまの件について質疑がある方は。森谷委員。 2 番目の「試験的な値下げ」について。この試験の目的は何か。 利用しやすい駐車場を目指すということで、料金がいくらであれば利用しやすいのか、またその需要といったことも把握したいので、試験的に実施してみたい。
森谷委員	例えば応募がゼロ、あるいは 1 台だった時も、1 年間無駄に過ごすのか。
財産管理課長	受付期間が過ぎてもそういった状況であれば、条件を見直した上で第二弾の公募をしたい。
森谷委員	試験期間ということ言うなら、1 年間は長すぎる。また、応募した人は現在の契約を解約しないとここに来られない。もしも試験終了後にやらないと決定したら、応募者はまた探さなければいけないし、遠くに行く可能性がある。 1 ヶ月間無料で試験をしたらどうかと私は何度も提案した。そうすれば実際の情報が入るのでは。またほぼ全部の飲食店でアンケートを取った。その結果も全てそちらに渡している。必要な台数として既に二十数台が集まった。また妥当金額は 6,000 円プラス消費税という数字も与えている。それなのに全く正反対のトライアルが何故出てくるのか教えてもらいたい。
財産管理課長	銀天街協同組合の事務局の意見や、周りの月極め駐車場の状況といった現状を把握した上で、今後どうするかを検討してきた。もちろん使う側からすれば、安ければ安いほど良いというのは承知しているが、周辺の民間駐車場の経営を圧迫してはならないことも念頭に置いている。飽くまで試験的に、今後どうしたら使いやすくなるかを検証しつつ、一方で周辺にご迷惑にならない程度、そういった線を探っている。段階的に調査させていただきたい。
森谷委員	民間駐車場はお互い別々に聞きに行ったではないか。そして民業圧迫にはならないということは明らかになったではないか。 最初にあなた方は「民間駐車場が困ると言った」と僕に言った。同じ駐車場に行って社長の話を聞いたら「イレギュラーで止めているだけだから本当はどんどん解約したい」と、違う答えを持っていた。

財産管理課長

圧迫していないという証拠をお互いに共有しているのに、何故俺と反対の答えばかりを何とか考え出そうとしているのか。

森谷委員のおっしゃることも承知している。確かにご指摘の駐車場を経営していらっしゃる会社の方とは私も話をして、委員の話と同じことをおっしゃっていた。

実は立体駐車場の周辺には結構たくさんの月極め駐車場があり、今回調べたところ、立体駐車場周辺は 9,000 円が多く、少し離れると 8,000 円くらいの所もあるが、だいたいその辺が相場だと分かった。

1 つの会社の意見はそうだったが、そこ以外の所も調べた結果を尊重したということ。

森谷委員

後で課に聞きに行くが、1 つではない。わんわん駐車場は月極めさせない、あそこもさせない、月極めなどやるつもりはないということ。

嘘を言いながら僕に内緒で他の所を調べていて、他の所へ行ったらまた違う答えが出たりする。こういういちごっこのような無駄なことはもう止めよう。

佐々木委員長

他に。

(「なし」という声あり)

佐々木委員長

ないようなのでここで昼休憩を取る。再開は午後 1 時丁度とする。

[12 時 04 分 休憩]

[12 時 58 分 再開]

佐々木委員長

会議を再開する。休憩前に引き続き執行部からの報告事項。

(10) 「平成 26 年度 2 月版 浜田市税だより」の発行について

佐々木委員長

この件について、税務課長。

税務課長

(以下、資料をもとに説明)

佐々木委員長

ただいまの件について質疑がある方は。

(「なし」という声あり)

佐々木委員長

ないようなので次へ移る。

(11) 教育委員会制度の改正について

(12) 公立幼稚園保育料の改定について

佐々木委員長

この件について、教育総務課長。

教育総務課長

(以下、資料をもとに説明)

佐々木委員長

冒頭にも触れたが、この 2 件については次回 3 月定例会の審査内容となっている。その点も踏まえて、もし皆さんから何かあれば。

佐々木委員長	(「なし」という声あり) ないようなので次へ移る。
(13) 浜田市立公民館分館の管理運営について	
(14) 浜田市ふるさと郷育推進方針について	
(15) 高齢者の軽スポーツ推進方針について	
佐々木委員長 生涯学習課長 佐々木委員長 上野委員	この件について、生涯学習課長。 (以下、資料をもとに説明) ただいまの 3 件について質疑がある方は。上野委員。 13 番について伺う。浜田の社会教育委員会の提言の中に「今後のまちづくりを支援する公民館について」というのが強く謳ってあった。この 9 館の中で地区まちづくり推進委員会が立ち上がっている所が分かれば教えて欲しい。分からなければ帰って勉強する。
生涯学習課長 地域振興課長	私どもでは承知していない。大変申し訳ない。 ご承知のように浜田自治区にも地区まちづくり推進委員会はある。例えば石見公民館で言うと、三階校区が石見公民館の分館が被っている。美川、国府の宇野、有福もまちづくり推進委員会と地区が被っている。
上野委員	了解した。公民館と教育委員会との共通理解はもちろん出来ていると思うが、教育委員会と関係部署との話がなされたのかが聞きたかった。例えば地域政策課と。 今後まちづくりを中心とした地域づくりをやると色々言われているので、そういった話もされながらこのような話が出てきたのかを伺いたい。
生涯学習課長	公民館とまちづくりと地域コミュニティセンター等は、今後どういう方向にしていけるかを検討しなければいけない。先般も地域政策と話し、まずどんな現状にあるのか実態を調査して、今後色んな問題点や方向性を一緒に検討していきたい。
上野委員	了解した。分館と言えども各自治区の公民館も、今後我々はどうのように進むのかという不安を抱えていると思う。仕事は増えてくるし、公民館業務もあるし、まちづくりも勉強しなければいけない。しかし上から全く情報が下りてこない。これまで一生懸命に社会教育資格を取った方も、手に余るから止めようかという方も何人か居た。分かることは少しでも早く教えてあげて欲しい。
生涯学習課長	公民館については、常に館長会、あるいは主事との会議を設け、常に情報を発信している。おっしゃった方法で今後も連絡を取っていきたい。
佐々木委員長 森谷委員	他に。森谷委員。 15 番について。6 ページ一番上、グラウンドゴルフ・パークゴルフと書いてある。ロードマップや中期財政計画や公共施設を減

	らすという流れの中に当然入っていると思うが、パークゴルフについては民間施設を数千万円で買い取り、投資的経費を新しく 3 億円近くかけて、という話を聞いている。そもそもそういうのがここにもはっきり出ていない状態で、ロードマップだのローリングだの、中財だの公共施設減らすだの、意図がごちゃごちゃしていて分からないのだが、どういう関係で 3 億もの話が出てきたりするのか。
生涯学習課長	施設整備については産業経済部でやっている。いわゆるソフト部分についてはグラウンドゴルフについて検討していく中で、パークゴルフというのが健康面でも学校教育でもかなり取り入れられているという情報を知り、同じように推進していけば良いのではないかということで、決めさせてもらった。
財政課長	この件は産業建設調査会で話があると思うし、予算は今から審議されるので、今ここでお話するタイミングではないと思う。
森谷委員	そうは思っているが、馬鹿にならない金額が知らない所でまたポンポンというのは、もう注意を受けているはず。はっきり言ってレジオネラ菌が出たあの辺りからごそごそ発案されていたのではないかと思う。ちょっと襟を正していただかないと、いつまで経っても理由がよく分からない物がポンと。理由は何でも作れば「ああそうなんですか」で終わってしまうようなものかもしれない。必要だと言われれば必要なのかと。襟を正して、計画や金の使い道を決めて欲しい。
財政課長	ご意見として伺っておく。
佐々木委員長	他に。岡野委員。
岡野委員	14 番について。5 ページアの 1 番「郷土の偉人紹介本作成事業」、その次ページに「小学校 4 年生を対象に偉人 1 人あたり 4 ページ程度に纏める」とある。冊子を作ることだと思う。50 人程度を選定するということだが、50 人を選定するのはどなたで、どういう基準なのか。50 人と言うとかなりの人数だし、自治区のバランスもある。もし何か決まっているものがあればお示しいただきたい。
生涯学習課長	図書館に関連本が 100 冊程度ある。基本的にはその本を編集する形で、4 ページで簡単に分かりやすくするようにしようというもの。50 人程度としているが、学校の先生や郷土史家等の意見を聞きながら選定したい。
佐々木委員長	他に。小川委員。
小川委員	14 番について。教育の場というか、どの時間を想定されているのか。授業内と授業外ということだが、授業外とは土日や夏休み等のことを想定されているのだらうと思う。一方、授業内の方は、ゆとりが無い教育になっている現状の中で果たしてこういう内容が組み込めるのか。何かお考えがあるか。
生涯学習課長	現在もふるさと郷育は授業内でやってもらっている。現在の道

	徳、社会、総合の時間等、時間内で出来る分についてはやっていただく。それと、通学合宿等はもちろん学校が終わってから公民館等で合宿していただくので、時間外ということになる。
	公民館が行う三世代交流等も、土日といった時間外になると考える。
	なので、新たに上乗せする意味ではなく現在の中で運用していただくことを考えている。
小川委員	だいたいそういう内容だろうとは思う。実際子どもたちの現状を見ると、一週間べったり授業や学校イベントの練習等で非常に疲れていて、土日は休んで翌週に備えるという状況である。求めていることについては非常に多いものがあると思うが、子どもたちがそれを受け入れられる条件も考えていただきながら進めてもらいたい。
生涯学習課長	疲れさせないように実施していただけるよう言いたいと思う。
佐々木委員長	他に。上野委員。
上野委員	郷土の偉人について。一般質問で副読本を作っていたかとお願ひした。これは僕の思いだが、旭でも郷土の偉人を引っ張り出した。そうすると、こんな有名な人が居たのかと分かったが戦争に反対したから表に出なかった方もおられり、当時に地域のために一生懸命やられた方も居るのに、旗色が違うから無視された方も居る。そういう方を入れて公平に副読本を作っていただくようにしないと、偏った物を作ってもおかしい。
生涯学習課長	委員のおっしゃるとおり。各自治区でないと個人の業績等で分らない部分もある。充分意見を聞きながら選定したい。
佐々木委員長	他に。
	(「なし」という声あり)
佐々木委員長	ないようなので次へ移る。

(16) 浜田市立三隅図書館開館時間についての方針案

佐々木委員長	この件について、中央図書館長。
中央図書館長	お話の前に、今朝ほど委員の皆さまに雑誌書架調査で中央図書館までご足労いただいたこと、お礼申し上げます。
	(以下、資料をもとに説明)
佐々木委員長	これについても 3 月定例会の審議事項となっているので、その時に主にやっていただきたいと思うが、ここでもし何かあれば。岡野委員。
岡野委員	確認だが、営業時間を 1 時間遅らせて、土曜も 6 時までとなっているが、日曜に関しては 1 時間延びるということになる。そのようにされた理由は。
中央図書館長	職員の勤務時間は 7 時間 45 分なので、その範囲内になるように後ろへ持ってきている。

佐々木委員長

他に。

(「なし」という声あり)

佐々木委員長

ないようなので次へ移る。

(17) その他

佐々木委員長

その他について、執行部から何かあるか。

(「ありません」という声あり)

佐々木委員長

では、執行部報告事項については以上で終了する。

2. その他

佐々木委員長

委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

佐々木委員長

ないようなので以上で総務文教調査会を終了する。

(閉 議 13 時 55 分)

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

総務文教委員長 佐々木 豊治 ⑨